

# ファイル向けAPEX Data Storage Services

ファイル サービスで非構造化データの潜在能力を引き出す

## APEX File Services

### メリット :

- 最大**129%の予測ROI**<sup>2</sup>
- オーバプロビジョニングのコストを最大**45%削減**<sup>2</sup>
- プランニングとプロビジョニングのコストを最大**86%節約**<sup>2</sup>
- ITチームの時間を最大**50%節約**<sup>2</sup>

### 機能 :

- PB規模まで容量を拡張可能
- 非常に要求の厳しいワークロードも実行可能
- 幅広いデータ タイプをサポート
- お客様はストレージではなくデータを管理
- 主要ベンダー、顧客、パートナー、エコシステムとの統合および接続
- 99.9999%の可用性を実現する設計<sup>3</sup>

ビジネスの変動の影響が緩和され、必要に応じて拡大縮小できるようになりました。Dellが作業をすべて引き受けてくれます。

— 通信関連企業、シニアクラウド ソリューション アーキテクト

非構造化データは、イノベーションの推進、市場投入までの期間の短縮、および差別化を実現する大きな可能性を秘めています。しかし、非構造化データの潜在能力を引き出すには課題もあります。非構造化データの量は膨大で、しかも多様性に富んでおり、急増し続けています。このようなソリューションをサポートするITインフラストラクチャを構築して維持管理することは、組織にとって共通かつ不変の課題です。支出を最適化することと使用量を予測することに加えて、リソースが限られていることにより、この複雑さがさらに増します。

シンプルさ、俊敏性、管理性を求める組織の間でアズ ア サービス利用の導入が進んでいることは当然と言えます。Gartner<sup>®</sup>は、2024年までに、新たに導入されるストレージ容量の50%以上がアズ ア サービスまたはサブスクリプション ベースでの注文となり、2020年時点の15%未満から大きく伸びると予測しています<sup>1</sup>。

デル・テクノロジーズには、世界レベルのサポートとサービスに支えられた強力なストレージ ソリューションの提供に関する確かな実績があります。APEX File Servicesにより、パブリック クラウドとプライベート クラウドの両方が持つ長所を手に入れることができます。この長所とは、拡張性と俊敏性に優れたオンデマンドのリソースと、独自のデータ センターでオンプレミスに設置または安全なコロケーション施設内に設置されたインフラストラクチャが備えるエンタープライズ クラスの機能、管理性、セキュリティです。

### 独自のオンデマンド環境の構築

APEX Data Storage Servicesは、ファイル ストレージの購入、導入、維持管理のプロセスをシンプルにします。アズ ア サービス エクスペリエンスは、シンプルで直感的に操作できるDell Technologies APEX Consoleで管理されます。このコンソールでは、以下を行うことができます。

- パフォーマンス階層、基本容量、場所、期間の選択
- 容量使用率と請求アクティビティの監視
- ユーザーのアクセスと権限の制御

APEX Data Storage Servicesでは、実際の使用量に合わせて請求額が決まります。使用した分だけ単一レートで支払う仕組みであり、容量使用率が基本容量を上回っても超過料金は発生しません。基本容量はいつでも増やすことができ、また契約期間の長さにかかわらず全体的なレートに対する割引を受けることができます。つまり、ワークロード要件の変化にすばやく柔軟に対応することができます。

### クラス最高のスケールアウトNASテクノロジー

デル・テクノロジーズは信頼できるパートナーであると同時に、世界トップクラスのエンタープライズ ストレージ システムのサプライヤーでもあります<sup>4</sup>。また、アズ ア サービス モデルを通じてファイル ストレージを柔軟に導入できるようになったため、非構造化データの保存、管理、セキュリティ確保、保護、分析を効率的に行い、データの価値を最大限に引き出すことに注力するための時間を確保できます。

- **規模にかかわらずシンプル** : PB規模まで容量を拡張できるソリューションを使用して、非構造化データの潜在能力を引き出すことができます。
- **要求の厳しいワークロードに対応** : 優れたパフォーマンスを提供し、ニーズの変化に合わせて簡単に拡張できるソリューションを利用して、非常に要求の厳しいワークロードも実行できます。
- **あらゆるデータをどこからでも** : NFS、SMB、HDFS、Amazon S3、HTTP、FTPプロトコルを含む内蔵の同時マルチプロトコル セルフサービス機能により、さまざまなデータ タイプと多様なワークロードに対応できます。

- **コスト面で最適化されたデータ配置**：ビジネスルールと組み込みのインテリジェンスに基づく自動ストレージ配置により、コストを削減します。
- **エンタープライズ データ保護**：ローカルおよびリモートの保護オプションに加えて、実績のあるエンタープライズ クラスのバックアップおよびディザスター リカバリー ソリューションを備え、シームレスな互換性を提供する耐久性に優れたシステムによってリスクを低減します。
- **堅牢なセキュリティ オプション**：自己暗号化ドライブによる静止データ暗号化(D@RE)、ロールベースのアクセス制御、LDAP/ADを利用した認証、アクセスゾーン、ファイルシステム監査、SMB3暗号化、HDFS透過的データ暗号化によって企業を保護します。
- **Big Dataの統合**：Pivotal、Cloudera、Hortonworks、Splunkなどの主要なベンダーとシームレスに統合し、インプレース分析によって人工知能、機械学習、ディープラーニングにおけるワークロードを推進します。
- **マルチクラウドの柔軟性**：データセンター コロケーション パートナーとの連携によりマルチクラウドへの準備が整っているため、特定のベンダーに縛られることなく、最大の価値をもたらす顧客、パートナー、エコシステムとの接続が可能です。
- **高可用性**：APEX Data Storage Servicesのインフラストラクチャはすべて、99.9999%の可用性を実現できるように設計されており、ハードウェア アップグレードを無停止で実行できます。<sup>3</sup>
- **オブジェクト対応**：S3のサポートにより、ストレージのユースケースが拡大し、データをコピーすることなくクラウド ネイティブな開発が行えるようになりました。

### インフラストラクチャではなく成果に集中

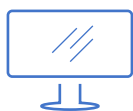
APEX File Servicesにより、お客様はワークロードとアプリケーションの運用に対する完全な制御を維持しながら容量を利用できます。一方、オンプレミスまたは安全なコロケーション施設に設置されたインフラストラクチャの所有と維持管理は、デル・テクノロジーズが行います。

その結果、クラウドのようなエクスペリエンスが実現します。分かりやすく予測可能な価格設定となっており、データ転送料金やレイテンシーの問題も発生しません。お客様のITスタッフは、日々の維持管理、予測、調達、アップグレード、複雑なテクノロジー更新サイクルについて心配することなく、生産性を向上させ、顧客満足度を高めるための価値の高い取り組みに注力できるようになります。

### APEX File Servicesのパフォーマンス オプション：

パフォーマンス階層	Capacity Optimized	Balanced	Performance Optimized
説明	コスト面で最適化	バランスのとれたパフォーマンスとコスト	最高レベルのパフォーマンス、低レイテンシー
読み取りパフォーマンス	10 (TBあたりのMB/秒)	28 (TBあたりのMB/秒)	330 (TBあたりのMB/秒)
書き込みパフォーマンス	5 (TBあたりのMB/秒)	13 (TBあたりのMB/秒)	109 (TBあたりのMB/秒)
Ops/秒	90 (TBあたり)	130 (TBあたり)	4,250 (TBあたり)
最小容量	200 TB	200 TB	50 TB
ターゲット ユース ケース	アーカイブデータ階層化、ビデオ監視/デジタル エビデンス、医用イメージング	ホーム ディレクトリー、M&Eコンテンツ配信、SWテスト/開発、Big Data/バッチ分析	ストリーミングリアルタイム分析、AI/ML/DL用データレイク、M&Eコンテンツ作成、EDA/ADAS

TB単位で表記した容量の場合1 TB = 2<sup>40</sup>バイト、GB単位で表記した容量の場合1 GB = 2<sup>30</sup>バイトです。読み取り/書き込みスループットの最大パフォーマンスは、100%シーケンシャルな読み取りおよび書き込みワークロードでのNFSv3プロトコルに基づいています（ベースTBあたり）。Ops/秒の最大パフォーマンスは、一般的なNASファイル共有ベンチマークでのNFSv3プロトコルに基づいています（ベースTBあたり）。パフォーマンス メトリックは特定の基本容量ポイントに基づいています。登録した容量に応じて、より高いパフォーマンスを達成できる可能性があります。



APEX Data Storage Servicesの**詳細はこちら**



デル・テクノロジーズの**エキスパートに  
問い合わせる**

<sup>1</sup> Gartner®, 『Market Guide for Consumption-Based Pricing for Data Center Infrastructure』Daniel Bowers他 (2021年3月1日)。  
GARTNERは、Gartner, Inc.およびまたは米国内外の関連会社の登録商標およびサービス マークであり、ここでは許可を得て使用されています。All rights reserved. (不許複製・禁無断転載)

<sup>2</sup> デル・テクノロジーズの委託によるForresterのNew Technology Projected Total Economic Impact調査 (2021年6月)。APEX Data Storage Servicesを使用している4つの組織への聞き取り調査 (結果を集約して1つのモデル組織に統合) と、その他のIT導入決定者121人からのアンケート回答に基づく3年間にわたる推定値です。実際の結果は異なる場合があります。レポート全文はこちら。

<sup>3</sup> 基礎となるプラットフォームの一般的な構成でのハードウェアの可用性に基づいています。実際のハードウェアの可用性は異なる場合があります。

<sup>4</sup> IDC, 『Worldwide Quarterly Enterprise Storage Systems Tracker, 2021 Q4 Historical Release』(2022年3月10日)。ベンダー売上別ランキング。